



<http://www.pragmatics.gr.jp>

No.51 / Spring 2024

会 長 秦 かおり

事務局 〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学外国語学部 八木橋宏勇研究室内

事務局連絡先 [secretary-at-pragmatics.gr.jp](mailto:secretary-at-pragmatics.gr.jp)

郵便振替口座 00900-3-130378 口座名：日本語用論学会

ゆうちょ銀行口座 記号・番号：00900 - 130378 日本語用論学会

支店番号：099（店名：〇九九） 当座預金 口座番号：0130378 日本語用論学会

## 《会長就任ご挨拶》

### 語用論のコアとペリフェラル 学際的議論や交流の場を提供する学会へ

日本語用論学会会長  
秦かおり（大阪大学）

この度、2024-5 年度日本語用論学会会長を拝命いたしました秦かおりです。就任早々、最初の試練として飛び込んできたのが、このニューズレターの原稿でした。あれこれ思い巡らしましたが、私自身の体験と学会運営にあたっての展望、目標とすべき指標について、所信表明として簡単に述べたいと思います。

#### 日本語用論学会の進化と今後の展望

日本語用論学会では、ここ数年、さまざまな試みと進化がありました。まず、2022 年度からワーキンググループを立ち上げ議論してきた『語用論研究』のオンライン化について、2023 年度分からオンライン提供が始まりました（2024 年 5 月発行）。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/pragmatics/-char/ja>

オンライン化に際し、堀江編集委員長をはじめ、大変多くの方々にお骨折りいただきました。あらためてお礼申し上げます。

今回のオンライン化は、単に媒体が変わるだけでなく、これを機に論文一編ずつ検索して見ることができるよう J-stage に登録し、論文をよ

り参照しやすく、引用しやすい形に作り直しました。近年の研究者はまずは検索でヒットしたものを参考にする率が高いという現状を受けて、この試みは本ジャーナルに掲載された論文の引用率を押し上げるとともに、広く会員非会員に関わらず論文を読めるようにし、検索する側・される側双方に有益となる立付けになっています。本学会の会員の皆様には、是非ご活用ください。

#### より学際的な議論の場を目指して

ジャーナルの目次を見ても、年次大会のプログラムを見ても、日本語用論学会では年々多様な分野を取り入れていることが見て取れます。語用論を真に自身の研究のコアと定めて追求する者から、他分野だけれど分析のツールとして語用論を用いる者までさまざまです。私自身、日本語用論学会は自分の専門とはやや離れたものとして、「一応学会員ではあるけれども積極的に発表をする場ではない」と感じていました。しかし近年、主としてここ 10 年程の間に本学会も学際的な議論や交流を大切にする学会に発展し、他の学会を主学会としながら本学会にも貢献してくださる方が増え、その分、多彩な学会員を抱えることとなりました。会員の皆様には、是非躊躇することなく発表に応募し、ジャーナルに投稿していただきたく思います。

さらに、近年では若手研究者に向けた多くの取り組みを始めています。尾谷前事業委員長、武黒現事業委員長のご尽力により、年次大会とは別に、主として院生を含む若手研究者に知識交流の場が提供され、盛況を収めています。た

たとえば今夏 8 月 31 日（土）、オンラインイベント「そうだ！国際学会行こう」が行われます。

<https://pragmatics.gr.jp/activity/2/1.html>

国際学会に楽しく有意義に参加するコツを伝え合う会です。会員限定ですが、皆様には是非ご参加いただき、何らかの化学反応を起こしていただければ幸いです。

#### 会長として

会長に選出された時、多くの方からお祝いのお言葉をいただきました。しかしながらその多くが「おめでとうございま...す？」というものでした。微妙に含みを持たせた「お祝い」です。

しかしながら、せっかく頂いた貴重な期間ですので、その間に会員に資するジャーナルの運用、学際的なイベントの実施、若手研究者の獲得を目指し、滝浦前会長が健全化してくださった学会予算をできる限り有効に使用し、国内外とのつながりを開拓していきたいと思っております。また、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行しましたが、このコロナ禍で私たちが（図らずも）手に入れたオンラインスキルは、今後も積極的に活用し、会員にとって最も良い形で研究交流の場を提供していきます。

#### 会長職の任期を全うするために

本来であれば、ここで日本の語用論の大家（？）となれるように精進し、会長としてふさわしい人材に、と宣言するべきでしょうが、それはある種当たり前のこととして捉え、私の場合は、まずは健康であること、滞りなく任期を終わらせることを第一目標にしたいと思います。私はあまり体が丈夫ではありませんが、数十年前にそれを嘆いていた時に、「ホーキング博士はホーキング博士なりの健康があるように、自分ができる範囲で自分にとっての健康を目標に過ごすようにしたらいい」というアドバイスをいただきました。ホーキング博士と同列に並べるなど烏滸がましいですが、私は私の定義する健康を大切に、任期終了まで走り抜きたいと思えます。

一つおまけです。

会長に選出された時、ある方から「人は器を与えられてその器にあった人物となっていくので頑張ってください」というお励ましをいただきました。私自身、昔からほんの少しか今の自分の能力を上回るところに身を置き、成長していけるよう、心がけています。

しかしながら、人には必ず限界がきます。イソップの童話『おろかなカエル』をご存知でしょうか。

カエルのこどもたちが池であそんでいました。そこへ大きな動物が現われました。子ガエルは、それがウシだということを、まだ知りませんでした。お母さんガエルが帰ってきたので、大きな動物に出会ったことを話しました。すると、お母さんは自慢のおなかを、これでもか、これでもかとふくらまし始めたのです。だが、身体の大きなウシにかなうわけがありません。ついに、おなかをふくらましすぎて、パチン。

（『おろかなカエル』あらすじ紹介より）

カエルのお母さんはこれでもか、これでもか、とお腹を膨らませ、最終的にはお腹がはじけてしまう（当然ながらお母さんは即死）お話です。

少しずつ、少しずつキャパシティを広げて、でもそれは永遠に広がっていくわけではないから、いつかは限界がきて体が破裂する。でも限界が来るまで限界であることはわからない。私もお腹が破裂する前に、一番苦手の「仕事を振る」差配スキルを磨き、八木橋事務局長をはじめ皆様のお力を借りながら、次期会長に学会を健全な形でお引き渡しできるように精進してまいります。

## 語用論研究の新潮流 (10)

### 眼差しの語用論

土屋慶子（横浜市立大学）

人間の目と動物の目との違いは、なにか。それは白目があることであると聞いて、なるほどと思った。白目があることで、相手がどこをみているのかが直ぐに分かり便利である (Kobayashi & Kohshima, 1997, cited in Kendrick et al., 2023; 山極, 2019)。物質としての目と見ることとの区別は、2000 年以上前のアリストテレスの感覚論 (Aristotle 2004, cited in Wade, 2010) にもみられるが、眼球の動きを測る実験（頭を固定し、ワイヤー付コンタクトレンズを装着するような手法）は 18 世紀後半から (Duchowski, 2003/2017)、そして社会相互行為での視線分析の出現は 1960 年代まで待つこととなる。

初期の分析としては、相互凝視 (mutual gaze) と対人距離の関係に注目した実験 (Argyle & Dean, 1965) やターン交替と視線配布の長さ・タイミングに関する調査 (Kendon, 1967) がある。最近では聞き手役のアバター（PC 上に表示されるキャラクター）の瞬きの長さを変化させ、それが話

し手（こちらは人間）の発話の長さによりに影響するかを調べたり(Hömke et al., 2018)、真偽疑問文を用いて、Yes と返事をするときと No と答えるときで、回答者が質問者に向けた視線の長さがどう変化するかを測定した実験(Kendrick et al., 2023)などが報告されている。

分析手法も観察者の書記による記録からビデオ映像を用いた描写へ、さらに昨今ではウェアラブル・アイトラッカーを用いた一人称視点の収集と分析も、より手軽に（アイトラッカーの操作性や価格帯などの点において）に行うことが可能になりつつある(cf. Auer, 2017; Kendrick et al., 2023)。しかし片岡 (2014) にみられるような、タスク指向会話での発話行為や感情と視線配布の関係を分析した研究は、まだ少ないように思われる。

野村(2023)が日本語・英語でのナラティブに表れる他者の心内描写に注目するように、人は他者の言動から、その心情や意図を認識（推測・解釈）する。視線もその重要な要素の一つであり、タスク指向会話においてお互いの様子がみえる場合とみえない場合では、共通基盤化の過程が異なることが報告されている（吉田, 2019）。それでは最新鋭のアイトラッカーで一人称視点情報を得ることができれば、観察者としての研究者はその“視点”の持ち主の意図を手取るように理解できるのかということ、物事はそう簡単ではない。

アイトラッカーの眼鏡フレームの内側から出る赤外線が瞳孔の動きをとらえ、それがビットとして記憶され、そのデジタルデータを視線解析アプリケーション上の画像に点描することで、他者の一人称視点が視覚化される。画像のコマ送りが映像となり、その上を漂う点を追いながら分析を進めることになるのだが、文字通り他人の目から世界を見てみると、なんとも奇妙な気持ちになる。Ryle の瞬きとウインクの違いに関する問い(Geertz, 1973) ではないが、これは意図的にある対象に向けられた（例えば、他者の動作を確認している）視線であるとか、こちらはただぼんやりその辺りを眺めているだけであるとか、どうして“分かる”のだろうか。今のところ、やはりその前後の発話や行為とともに対象を凝視している時間が鍵となろうか（それから in situ での収録データの場合は特に、フィールドでの観察も）。新たな問いが生まれ、謎は深まるばかりである。

理系の科学や実学に押され気味の人文学（cf. 隠岐, 2021）だが、言語哲学・言語学と科学的手法が融合する語用論の地平は、ますます広がり深みを増しつつある。文学 x 語用論（修辞学）

やジェスチャー x 語用論（オラリティ）にみられるような、古くて新しい語用論と他領域の学際的フロンティアは、新しい技術の助けも借りてさらに深化させることが可能であろう（眼差しの語用論もおそらく、その一つ）。さまざまな場での他者との共同行為を読み解き、対話を促すために、語用論の知見を含む人文知は不可欠である。

#### 参考文献

- Argyle, M., & Dean, J. (1965). Eye-contact, distance and affiliation. *Sociometry*, 28(3) 289–304.
- Aristotle (1987/2004). *De Anima* [On the Soul]. Penguin.
- Auer, P. (2017). Gaze, addressee selection and turn-taking in three-party interaction. *Interaction and Linguistic Structures*, 60, 1–32.
- Duchowski, A. T. (2003/2017). *Eye Tracking Methodology: Theory and Practice*, 3rd edition. Springer.
- Geertz, C. (1973). *The interpretation of cultures*. Basic Books.
- Hömke, P., Holler, J., & Levinson, S. C. (2018). Eye blinks are perceived as communicative signals in human face-to-face interaction. *PLOS ONE*, 13(12), e0208030.
- 片岡邦好 (2014). 課題達成談話における日英語話者の視線について: 共通点と相違点からみる文化的行為. 井出祥子・藤井洋子（編著）『解放的語用論への挑戦—文化・インターアクション・言語—』(pp.123-155). くろしお出版.
- Kendon, A. (1967). Some functions of gaze-direction in social interaction. *Acta Psychologica*, 26(22–63).
- Kendrick, K. H., Holler, J., & Levinson, S. C. (2023). Turn-taking in human face-to-face interaction is multimodal: Gaze direction and manual gestures aid the coordination of turn transitions. *Philosophical Transactions of the Royal Society B*, 378(1875), 20210473.
- Kobayashi, H., & Kohshima, S. (1997). Unique morphology of the human eye. *Nature*, 387(6635), 767–768.
- 野村佑子 (2023). 「日英ナラティブにおける心内の思いを表現する言語形式の選択：相互行為の日英対照研究と日本語を母語とする英語学習者が陥る困難との接点を求めて」『日本女子大学英米文学研究』58, 227-240.
- Wade, N. J. (2010). Pioneers of Eye Movement Research. *i-Perception*, 1(2), 33-68.
- 山極壽一 (2019). 「《特別寄稿》(第 25 回大会記念講演) ゴリラから見た笑いの進化と AI 社会」『笑い学研究』26, 1-25.

吉田悦子 (2019). 「やりとりの不均衡性をどう調整するか：課題達成場面における共通基盤化」田中廣明 秦 かおり 吉田悦子 山口征孝 (編) 『動的語用論の構築へ向けて 第1巻』(pp.67-87).開拓社.

### \* \* PSJ27 (第27回大会) ご案内 \* \*

日本語用論学会第27回大会は、以下のとおり、大阪大学豊中キャンパス(大阪府豊中市)での開催を予定しております。

◆日時：11月30日(土)、12月1日(日)

◆場所：大阪大学大学院人文研究科  
(豊中キャンパス)

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-8

(大阪大学大学院人文科学研究科共催)

(アクセスについてはP.5をご参照ください。)

#### ★開催方法変更時の案内について

社会情勢の影響によりオンライン開催へ変更する場合は、学会公式ウェブサイトと会員メーリングリストで告知します。

#### ◆主なプログラム

大まかなプログラムは以下を予定しております。タイムスケジュールや変更点など、詳細は、追って学会公式ウェブサイトと会員メーリングリストでお知らせいたします。

#### 【大会テーマ】

「語用論、日本語学、逸脱」

≪11月30日(土)≫≪12月1日(日)≫

- |          |             |
|----------|-------------|
| ☆特別講義    | ☆研究発表       |
| ☆ワークショップ | ☆会長就任講演     |
| ☆研究発表    | ☆語用論茶寮(昼休み) |
| ☆ポスター発表  | ☆シンポジウム     |
| ☆会員総会    |             |
| ☆基調講演    |             |
| ☆懇親会     |             |

#### 【基調講演】

「翻訳話体と小説：村上春樹作品を例に」

金水敏(放送大学大阪学習センター所長・  
大阪大学名誉教授)

要旨：中村桃子(2013)では、翻訳・吹き替えにおいて女性は「女ことば」、男性は「翻訳

版・気さくな男ことば」を用いるとし、後者は「やあ／さ／かい／だい」という指標によって特徴付けられるとしたが、これらの特徴は村上春樹の小説作品に広く見られるところで、村上春樹は日本語の小説に翻訳話体を大胆に持ち込んだ最初の作家として位置付けられる。今回はこの特徴に加え、「言いさし+ネ」構文を取り上げたい。これは「完璧な文章などといったものは存在しない。完璧な絶望が存在しないようにね」(『風の歌を聴け』冒頭)のように、言いさし文にネを付けて、先行する文との関係を表示する構文であり、英文翻訳に広く見られるものである。本講演では、助詞「ね」の談話的機能の考察と併せて、村上春樹の小説に見られる「言いさし+ネ」構文の起源と機能について考える。

#### 【特別講義】

Wei REN (Beihang University)

#### 【シンポジウム】

詳細は、決定次第お知らせいたします。

#### ◆発表募集

発表形態は、口頭発表、ポスター発表、ワークショップの3種類です(発表言語は日本語ないしは英語)。各スケジュールと応募要項は以下をご覧ください。皆様のご応募をお待ちしております。

- 投稿締め切り：  
2024年8月4日(日) 23:59 JST
- 採否通知：  
2024年9月下旬頃
- 大会発表要旨(Abstract) 原稿締切：  
2024年10月中旬頃
- 大会発表論文集(Proceedings) 原稿締切：  
2025年3月23日(日) 23:59 JST

#### ◆応募要項

##### ①申し込み資格

口頭発表・ポスター発表の第一発表者、ワークショップの代表者として発表を申し込むには会員である必要があります。なお、ワークショップは司会者を含めて3名以上の団体である必要があります。

##### ②発表テーマ

語用論研究と関連するテーマであれば自由。

## ③発表形態と発表時間

- 1) 口頭発表：発表 25 分＋質疑応答 10 分
- 2) ポスター発表：1 時間（掲示時間）
- 3) ワークショップ：1 時間 40 分

※1. 新型コロナウイルス感染症に関わるやむを得ない事情が生じた場合には、すみやかに大会発表委員会にご相談くださいますようお願いいたします。

※2. 社会状況を鑑みてオンライン開催となる場合もあります。予めご承知おきください。

## ④発表言語：日本語または英語

## ⑤申し込み先

発表の申し込み先は、学会ホームページの会員専用ページ「マイページ」内にあります。この「大会発表応募ページ」は 6 月上旬頃にオープンする予定です。投稿方法の詳細は後日学会ウェブサイトでお知らせいたします。

## ⑥申し込み原稿の形式

発表の種類にかかわらず、申し込み原稿はすべて同じ形式です。

用紙サイズ：A4 縦

規定文字数：日本語 2,500 字以内、英語 500 words 以内。日本語の場合は文字数を、英語の場合は word 数を、原稿の末尾に記入してください。

ファイル形式：Microsoft Word 形式(doc, docx)、PDF 形式(pdf)

- ・氏名と所属は記入しないでください。
- ・発表タイトルを 1 行目に、タイトルの下に 1 行空け、次の行から本文を記入してください。
- ・ワークショップの場合は、発表者全員分の要旨が規定文字数・word 数に収まるようにまとめてください。
- ・文字数と word 数には、例文、表、キャプション、注釈を全て含みます。ただし、図形内のオブジェクトに添えられた文字や参考文献は含みません。日本語原稿の中にアルファベット等の半角文字を含む場合、半角文字 2 文字を 1 字と数えます。
- ・参考文献の書式は『語用論研究』に準じます。
- ・指示された形式やファイルフォーマットに従わずに申し込んだ場合、内容にかかわらず不採用となる場合があります。
- ・タイトル（サブタイトルを含む）は、（大会発表委員会、大会総務委員会から依頼する場合を除き）一切変更はできません。採択や発表後に公表される「プログラム」「要旨集」

「大会発表論文（Proceedings）」に掲載されるタイトルは、申込時のタイトルとなります。なお、発表応募時に（「マイページ」内の）「大会発表応募ページ」に記入するタイトルと、ファイルで提出される申し込み原稿内のタイトルが一貫しているか、入念にご確認をお願いいたします。

## ⑦申し込み原稿の留意事項

申し込み原稿には、表現や構成のわかりやすさと説明の一貫性が求められます。かつ、以下のような点について過不足なく論じる必要があります。

- ・問題となる現象
- ・その現象についての先行研究と問題点
- ・現象の分析に用いるデータ
- ・現象の分析方法
- ・現象の分析結果
- ・分析結果に基づく結論と理論的含意

## ⑧申し込み制限

一人の会員が発表者として申し込みできるのは、一大会につき 2 件（ワークショップ含む）までです。かつ、第一発表者、または、ワークショップの代表者として申し込みができるのは一大会につき 1 件のみです。

## ⑨二重投稿の禁止

申し込みにおいては、二重投稿を禁止します。大会発表委員会が二重投稿と認めた場合、その申し込みは受理されません。かつ、次年度の大会においても当該者を発表者を含む申し込みは受理しません。

※1. 二重投稿とは、他の学会で既に発表した、もしくは発表を申し込み中である内容、または、既に学術的刊行物に掲載された、もしくは投稿中である論文と極めて類似する内容で申し込むことを指します。

※2. 学士論文・修士論文・博士論文は、公表や出版がされていない場合、「学術的刊行物」には含めません。

※3. 学会の発表や学術的刊行物の掲載へ応募したものであっても、既に不採択が決定している内容を申し込む場合は、二重投稿に含まれません。

## ⑩選考結果の通知

選考結果は、9 月下旬に第一発表者、または、ワークショップの代表者宛に通知します。

## ①No Show に対する措置

発表が採択されたにもかかわらず、大会当日に大会発表委員会に無断で発表を行わない場合やポスターの掲示のみで説明を行わない場合は、これらを「No Show」とみなし、学会ウェブサイトにて公表します。ただし、事前、または、当日に（やむをえない場合には事後に）、発表を行えない（行えなかった）合理的な事情の説明がある場合には、「キャンセルされた発表」とします。

## ◆ 問い合わせ先

発表申し込みに関するお問い合わせは、下記アドレス宛に7月29日（月）までお願いいたします。

E-mail : presentation -at- pragmatics.gr.jp  
(大会発表委員長・早野薫宛)

## ◆ 第27回大会会場・大阪大学（豊中キャンパス）への交通・宿泊について

[大会会場について]

会場：〒560-0043 豊中市待兼山町1-8  
大阪大学大学院人文学研究科  
(豊中キャンパス)

最寄駅・所要時間：阪急電車宝塚線「石橋阪大前」駅（急行停車）下車 東へ徒歩約15分  
または、大阪モノレール「柴原阪大前」駅下車 西へ徒歩約10分

アクセス情報：<https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/infomations/access/>



[宿泊について]

大阪大学豊中キャンパス近辺にはあまり宿泊施設はございません。大阪梅田駅周辺はキャンパスへのアクセスも良く、宿泊施設も豊富です。

## \*\*研究会コーナー\*\*

## ◆ 中四国九州地区研究会

九州大学言語文化研究院主催  
「認知語用論講演会・研究会」

令和5年12月16日（土）に九州大学伊都キャンパスにて、2回目となる「認知語用論講演会・研究会」を開催しました。まず、西山佑司慶應義塾大学名誉教授に「チョムスキーと関連性理論」という題目でご講演いただきました。チョムスキーによる語用論への言及は乏しく、その重要性は認めていながらも、自由意志を扱う点において科学的考察には至らないという指摘がされてきました。この講演では、「関連性理論は科学である」という立場から、語用理論のなかで関連性理論はチョムスキーの言語理論と整合性があることを、多数の文献の分析と解釈に基づき論じられ、言語理論研究者および関連性理論研究者にとって大変貴重なご講演となりました。続いて3件の研究発表を行いました。まず、黒川尚彦先生（大阪工業大学）による「「とか」発話における「とか」の意味と効果」では、関連性理論の立場から「とか発話」の手続き的意味の一義的定義がなされました。さらに、言語データにより明らかにされた3つの用法の違いは、用法において際立ちを与える要素の違いによるものであると論じられました。続いて、土屋智行先生（九州大学）による「インターネット上の定型的表現とそのコミュニケーション機能に関する類型とその検討」では、あらかじめ組み立てられたまとまりとして記憶され使用される定型的表現（cf. Wray 2002）について、その拡張表現がネット上のコミュニケーションで用いられる際の特有の機能が論じられました。最後に、瀬楽亭先生（韓国外国語大学）によるオンライン発表「Discourse Grammarの枠組みから見たプレースホルダと躊躇標識」では、whatchamacallitなどのプレースホルダとuhなどの躊躇標識の機能が同一形式により実現される現象をDiscourse Grammar (Heine et al. 2013)の枠組みを用いて論じられました。さらに、その現象が指示語のみならず、14の言語のデータを分析することで非指示語由来の形式においても観察されることを解明された興味深い研究でした。

今回も対面とオンラインで開催しました。100名近くの方に参加いただき、終了予定時間を越える盛会となりました。

あわせて、下記の新刊書もご紹介いたします。

『データを用いたことばとコミュニケーション研究の手法』大津隆広（編）出版社と価格は新刊書のコーナーをご覧ください。

本書は、データを用いたことばとコミュニケーション研究の手法を具体的に提示した研究書です。九州大学に関わりのある語用論研究者を中心に執筆された11編は、語彙や構文、会話と語り・文法形式、会話表現や談話標識、文法化や言語接触、話し手と聞き手の相互行為的側面など、言語やコミュニケーションのさまざまなトピックに関する論考です。こうしたトピックに対して、書き言葉や話し言葉、あるいは韻律を含めたコーパス、映像・音声などのマルチモーダルコーパス、自主構築コーパスなどのデータを用いた多様な研究手法を提示しています。データを用いた言語研究の手法を具体的に提示するための工夫として、11編の論考をトピック別に大まかに分類したのち、各論考の冒頭で研究の概要とキーワードを示し、研究の意義や研究方法、使用したデータのタイプや内容の説明を加えています。データを用いた近年の言語研究の手法は多種多様であり、使用するデータと研究手法により分析方法は異なるものになります。本書はデータと言語研究の専門書ですが、データを用いた言語研究を始めたばかりの学部生や大学院生にとっての手引書となることも願っています。

（九州大学 大津隆広）

### ＊ ＊ 委員会・事務局より ＊ ＊

#### ★『語用論研究』編集委員会より

4月初旬『語用論研究』のオンライン創刊号(2023年25巻)がJ-stageで公開されました

(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/pragmatics/-char/ja>)。招待論文2本、一般投稿論文5本(研究ノート1本を含む)、書評論文1本、書評2本が掲載されています。それぞれの論文はDOIを付され、即時に全世界に向けて公開されています。

編集委員会の体制に関しては、編集委員、副委員長を長くお務めいただいた松井智子先生が

退任され、編集委員の西田光一先生に副委員長就任をお引き受けいただきました。オンライン化に一方ならず労を取っていただいた吉田悦子先生には引き続き副委員長に留任いただいております。さらに、平田一郎先生、遠藤智子先生に編集委員に加わっていただきました。この新たな体制で、次号(2024年26巻)に向けての査読・編集作業を行ってまいります。次号の一般投稿論文(マイページからの投稿)の締め切りは2024年6月末日となっております。会員のみなさまからの意欲的なご論考の投稿をお待ちしております。

(編集委員長 堀江薫)

#### ★大会総務委員会プロシーディングス担当より

目下、大会総務委員会(プロシーディングス担当)では、第26回年次大会(2023年度)で発表された論文をとりまとめ、『大会発表論文集』(Proceedings)(第19号)(電子媒体のみの発行)を作成いたしております。ご提出いただきました原稿は、7月末～8月を目途に当学会ホームページ上にて公開される予定です。原稿をご提出いただいた会員の方々には、ご協力いただき誠にありがとうございました。なお、この4月より大会総務委員長には竹田らら先生が就かれております。学会活動の記録、研究成果の波及のためにも、引き続き『大会発表論文集』へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

(八木橋宏勇)

#### 《事務局より》

#### ★会費納入のお願い

年会費は、一般会員6,000円、学生会員4,000円、団体会員7,000円です。よろしくお願い申し上げます。学会口座は以下のとおりです。

#### 【郵便振替】

口座番号：00900-3-130378

口座名：日本語用論学会

#### 【ゆうちょ銀行】

支店名：099

口座種類：当座

口座番号：130378

口座名：日本語用論学会

学会ホームページの「会員専用ページ」より、クレジットカード決済も可能です。会員ステータス、会費納入、会員専用ページへのログイン

等に関するお問い合わせは、事務局ではなく、下記までお願いいたします。

日本語用論学会 会員管理室  
E-mail: psj-at-outreach.jp

★令和3年以降の激甚災害ならびに新型コロナウイルスによる影響を受けられた皆様へ

日本語用論学会では、激甚災害に指定された豪雨の被害に遭われた会員の皆様に対し、お申し出いただくことにより「2024年度会費」ならびに「2024年度年次大会」の参加費を免除いたします。被災された皆様方の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

また、「新型コロナウイルス感染症」の直接・間接的影響による著しい経済的な影響を被っている会員の皆様におかれましては、以下の連絡先にまずはご相談ください。

日本語用論学会事務局  
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1  
杏林大学外国語学部 八木橋宏勇研究室  
E-mail: secretary-at-pragmatics.gr.jp  
(事務局長 八木橋宏勇)

### ★《新刊・近刊案内》★

■『[データを用いたことばとコミュニケーション研究の手法](#)』大津隆広（編）ひつじ書房（定価 6,000 円+税）



本書は、ことばとコミュニケーションに関わるトピックについて、多様な言語・非言語データをもとに分析を行う研究書である。語彙や構文、会話と語り・文法形式、会話表現・談話標識、意味拡張や言語接触、会話パフォーマンス、相互行為の側面からデータを用いた分析を紹介しており、幅広いトピックを網羅する一冊となっている。本書では各論のはじめに、概要に続いて使用するデータや分析方法に関する説明が書かれており、読者にとって読み進めやすい構成となっている。これからデータを用いて分析を始めようとする人だけでなく、これまでデータを用いて言語研究を行った経験のある人にも、分析手法

に関する知識をアップデートするきっかけを与えてくれる一冊である。執筆者：内田諭、大津隆広、大橋浩、土屋智行、冬野美晴、松村瑞子、山下友子、山田明子、山村ひろみ、横森大輔、劉巖、Edmundo Cruz Luna  
(2023.10.31 刊)

■『[話題別コーパスが拓く日本語教育と日本語学](#)』中俣尚己（編）ひつじ書房（定価 3,000 円+税）



本書は、「話題が変われば使用される文法も変わるのではないか」という問いに答えるために、コーパスで得られたデータに基づいて議論し、日本語教育への活用について述べたものである。まずは編者たちが構築した『日本語話題別会話コーパス：J-TOCC』の概要と

独自性を紹介し、次に、「話題と言語現象」、「話題と日本語教育」についての論考を収録している。言語現象に関しては、話題と助詞、談話標識、オノマトペの地域差などのトピックを取り上げている。日本語教育については、教材における話題の分布と難易度、話題と統語について論じており、学習者のニーズに合わせたコーパス語彙表を活用する指導方法やその成果も紹介されている。日本語学と日本語教育研究における「話題」という変数について新たな知見を与え、日本語教育の現場での応用に関する教育的示唆に富んだ貴重な一冊となっている。  
(2023.12.15 刊)

■『[日本における言語社会化ハンドブック](#)』クック峯岸治子・高田明（編）ひつじ書房（定価 3,000 円+税）



本書は、社会学、言語学、人類学など複数の分野が交差する領域で近年発展してきた言語社会化研究について、主に日本語、日本文化、日本社会に関心を寄せるものを中心に、古典研究から最新の原著論文までを所収したハンドブックである。

冒頭の総論では、当該研究の黎明期から日本人の行動やコミュニケーションのあり方が注目されるまでの流れが端的にまとめられ、続く第1部、第2部には、言語社会化のアプローチによる翻訳論文4編(第1部)と原著論文6編(第2部)が収められている。これらの論文は、子どもを含む家族間での相互行為場面、留学生等の外国人を含む多文化共生場面、職場における新人研修やキャリア教育場面などにおける「言語を使うための社会化」と「言語を使うことを通じた社会化」について論じるものとなっている。本書は、社会化に結びつく言語の「実用/実践」を通して、言語・社会・文化について学ぶ/学び直す大切さに気付かされる一冊となっており、特に語学教育や企業研修に携わる方々には、一読の価値がある好著である。(2023.10.5.刊)

■『[スマホは辞書になりうるか 日本語学習者の辞書引きの困難点と指導演法](#)』石黒圭・吉甜・佐藤彩子(編) 明治書院 (定価 5,000 円+税)



本書は日本語学習者の web 辞書・翻訳ツールの使用を分析し、日本語学習者がわからない語を調べる際どのような困難に直面しているのか、どうすれば知りたい言葉の意味にスムーズにたどり着けるのか、機械翻訳を効果的に語学学習に取り

入れるにはどうするかを考察する一冊である。全13章の中で、韓国、ベトナム、中国、台湾、マカオ、ドイツ等における様々な言語を母語とする日本語学習者の web 辞書・翻訳ツールの利用事例が紹介され、学習者が陥りやすい問題点と解決策が検証されている。語学学習といえば紙辞書ないし電子辞書が必須であった時代は今は昔。近年は学習者の多くがスマートフォンで web 辞書や翻訳ツールを使用している。初級学習者のころから辞書を使っていた世代にとって、スマホを用いた学習者が直面する問題は未知の世界である。その意味で本書は全く新たな知見を与えてくれる。日本語教育に関わる人に限らず、語学教育に関わる人にもおすすめの一冊である。(2024.5.23 刊)

■『[物語の言語学](#)』甲田直美(著) ひつじ書房 (定価 2,400 円+税)



本書は、言語学や日本語学を初めて学ぶ人を対象に、ことばと物語・語りとの関係を総合的に論じた本である。この本は3部構成からなり、膨大な先行研究を紐解きながら、言語学から見た物語、物語からみた言語を多角的に学べるスタイルとなっている。第I部では、物語を素材として言語学の

諸分野について学ぶ。『星の王子さま』の翻訳を通じた言語の多様性、談話におけるテンス・アスペクト、構造主義的音韻論と神話研究、文体論の手法などを取り扱う。第II部では、物語の技巧的側面を中心に扱う。口承物語と文字物語の差異、叙法、人称などの物語論、世界の昔話の類型化、ドラマ、アニメなどの商業作品における物語の趣向、視点現象とマンガの技法などが分析の対象となる。第III部では、物語を語る主体の行為に着目し、雑談と語りの行為、ゴシップ、物語の悪用など、コミュニケーションとしての物語について見る。本書は、物語の「手触り」を感じさせるさまざまなテキストを具体的に分析する中で、物語とことばについて学際的な観点から学びたい人にお勧めの1冊である。(2024.2.7 刊)

■『[日本語の秘密](#)』川原繁人(著) 講談社現代新書 (定価 900 円+税)

日本語の秘密  
川原繁人

言語学者、  
ことばの達人に  
会いに行く



本書は、著者と、歌人、ラッパー、声優、言語学者・小説家との対談が書かれた新書である。各人との対談が、1章ずつ掲載された計4章からなるが、どの章も吸い込まれるように一気に読み進めることができる軽快な一冊である。「ことばの達人」たちが携わる分野での言語使用を言語学的な視点を交えて楽しく語り

合う様子が読者にありのままに伝わってくる。語られる内容は極めて学術的であり、読者は改めて日本語について学術分野以外の視座からの刺激も受けるだろう。学術的な研究と日常を繋ぐことで、研究者の視点と一日本語話者として

の視点が重なり、著者が本書の冒頭で述べたように「言語の分析を通じて自分自身を知る」という言語学の意義もはっきりとわかる一冊である。研究者が気持ちをリフレッシュしたいときに読んだり、これから言語学を学んでみたい学生が読んだり、様々な楽しみ方ができる書と言える。(2024.2.20 刊)

■『**流暢性と非流暢性**』定延利之・丸山岳彦・遠藤智子・船橋瑞貴・林良子・モクタリ明子(編) ひつじ書房(定価 8,800 円+税)



フィルター、音の引き延ばし、つかえ、言い直しなど、現実の言語使用には様々な非流暢性が観察される。本書は、フィルターをはじめとする日本語の非流暢性現象の研究を長く牽引してきた定延利之氏の旗振りのもと、記述言語学、コーパス言語学、会話分析、言語教育学、言語障害学といった諸分野における非流暢性(および流暢性)についての論考を集めた一冊である。全体は 7 つのセクションから構成され、収められた論考は実に 25 篇に上る。このように学際的な論文集として構成されているが、目を引くのは、非流暢性という主題へのアプローチにおける分野間の違いやズレについて、お茶を濁さず正面から取り組んでいる点である。これは、「はじめに」に記された「用語の違いは、用語の違いに収まらず、そこには、より深い考えの違いが顔をのぞかせている」という編者の言葉に象徴的に表れている。巻末の「非流暢性の目録」では、各分野において非流暢性という用語に関連して扱われ得るトピックが列挙されており、分野間の比較という点でも、各分野の内部に関する見取り図の把握という点でも、多くの読者にとって有益な付録となっている。フィルターをはじめとする非流暢性現象に関心を寄せる研究者にとって必読の書であるばかりではなく、非流暢性という素材を通じて、各研究分野に特徴的な問題意識と最新の研究潮流について学ぶことのできる一冊とも言えるだろう。(2024.2.22 刊)

★広報委員会からのお知らせ

会員諸氏に広くお知らせしたいと思いますので、語用論関連の新刊書・近刊書の情報があれば広報委員会宛にお寄せください。ご自身の著

作はもちろん、恩師・同僚・友人・指導学生の出版物、比較的目にとまりにくい日英語以外での出版物なども歓迎します。なお、紹介文は出版社によるものを利用するほか、広報委員が執筆を担当しています。

PSJ members selected this section's recently-published and forthcoming books on pragmatics. We invite you to introduce books you recently published or highly recommend, to fellow members. Little-known books, and books written in your native language are especially welcome.

～編集後記～

■ 新年度を迎え、広報委員会も新体制となりました。SNS をはじめとして多量の情報が右から左へと流れゆく現代だからこそ、ニューズレターや学会ウェブサイトのような情報メディアでの発信にも価値があると思っています。学会の盛り上がりにつながるよう、広報委員一同努めて参ります。ぜひご注目を！(横森大輔)

■ 4月から新メンバーでの広報委員会がスタートしました。所属先でも新たな同僚を迎え、新しいカリキュラムが始まり、身の回りの様々な局面に新しい風が吹いています。フレッシュな気持ちで新年度を始められたことは久しぶりで、この爽快感をクリエイティブな力に変えたいと思います。(野村佑子)

■ 今号よりニューズレター編集委員をやらせていただくことになりました。原稿依頼からメ切までの(とても!)タイトなスケジュールの中で続々と集まる原稿、校正のやり取りを目の当たりにし、先生方の創作のスピード感に圧倒され刺激をうけております。引き続き会員の皆様に楽しんで読んでいただけるニューズレター作成に取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。(工藤貴恵)

~~~~~  
日本語用論学会 Newsletter 第 51 号  
発行：日本語用論学会広報委員会  
発行日：2024 年 6 月 1 日

[広報委員会]

- \* 委員長：横森大輔
- \* Newsletter 編集担当：  
野村佑子・工藤貴恵
- \* 公式ホームページ担当：  
名塩征史・李頌雅
- \* 会員メーリングリスト担当：  
木本幸憲・盛田有貴

E-mail: [webmaster-at-pragmatics.gr.jp](mailto:webmaster-at-pragmatics.gr.jp)